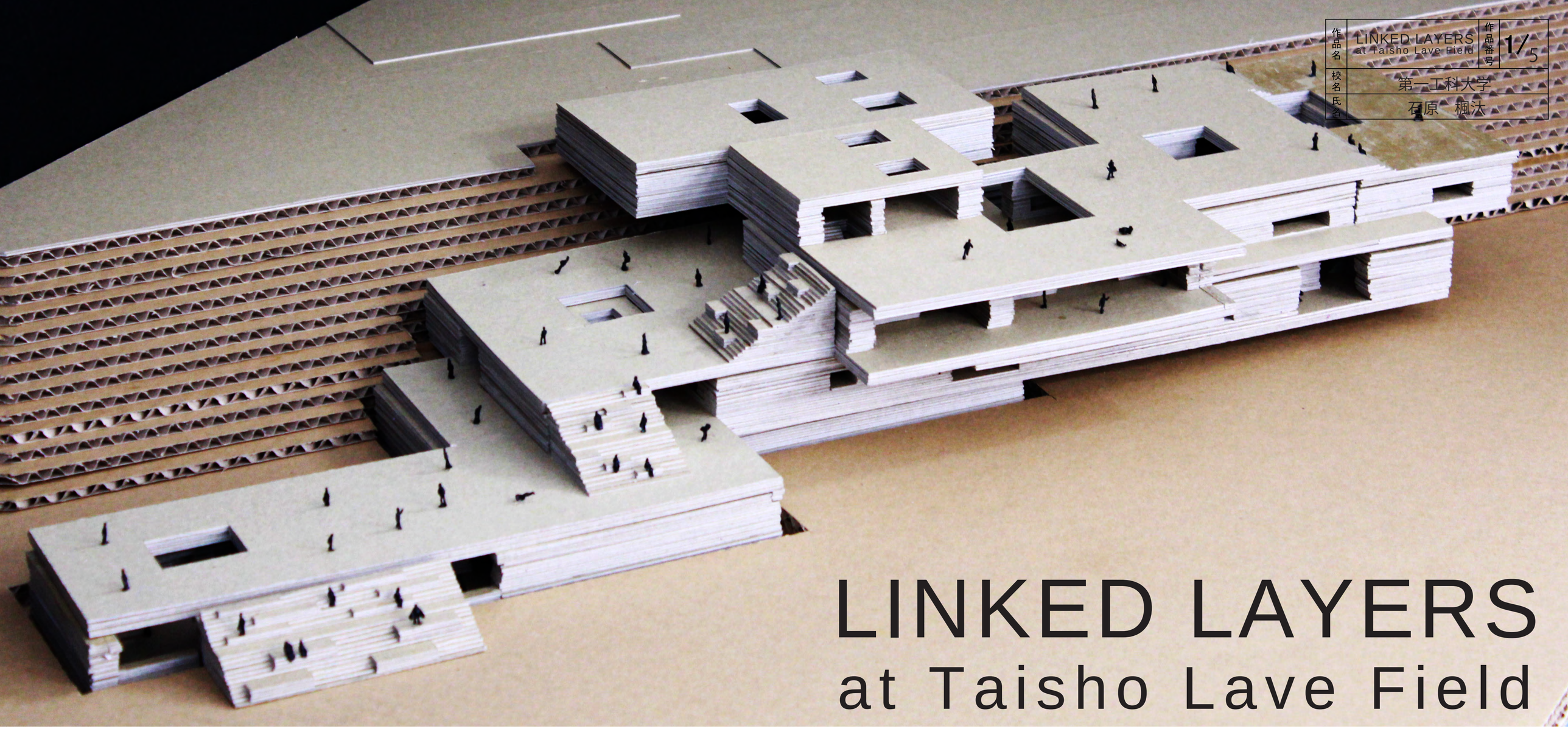
作品名	LINKED LAYERS at Taisho Lave Field	作品番号	1/5
校名	第一工科大学		
氏名	石原　楓汰		



LINKED LAYERS
at Taisho Lave Field

BACKGRAUND

鹿児島市にある桜島は、霧島錦江湾国立公園の一部である。
荒々しい岩肌が見える溶岩と海に囲まれ、高低差もあり緑豊かで自然が隆起した空間である。
そして、野外フェスや花火大会の会場になるなど人々も集まる場所である。
隆起した地形の中に、多くの人を集め、
地形を空間として体験できるランドスケープと一体となった建築空間を提案する。

SITE

対象敷地：大正溶岩原

赤水展望広場にある大正溶岩原は、海岸線に溶岩の荒々しい岩肌が見え、
ミズゴケやアコウが生えている。
海から山にかけて凹凸のある地形が広がっている。
錦江湾を挟んで鹿児島市街が見渡せ、背後には桜島がそびえたっており、
桜島の自然が一望できる場所である。

赤水展望広場

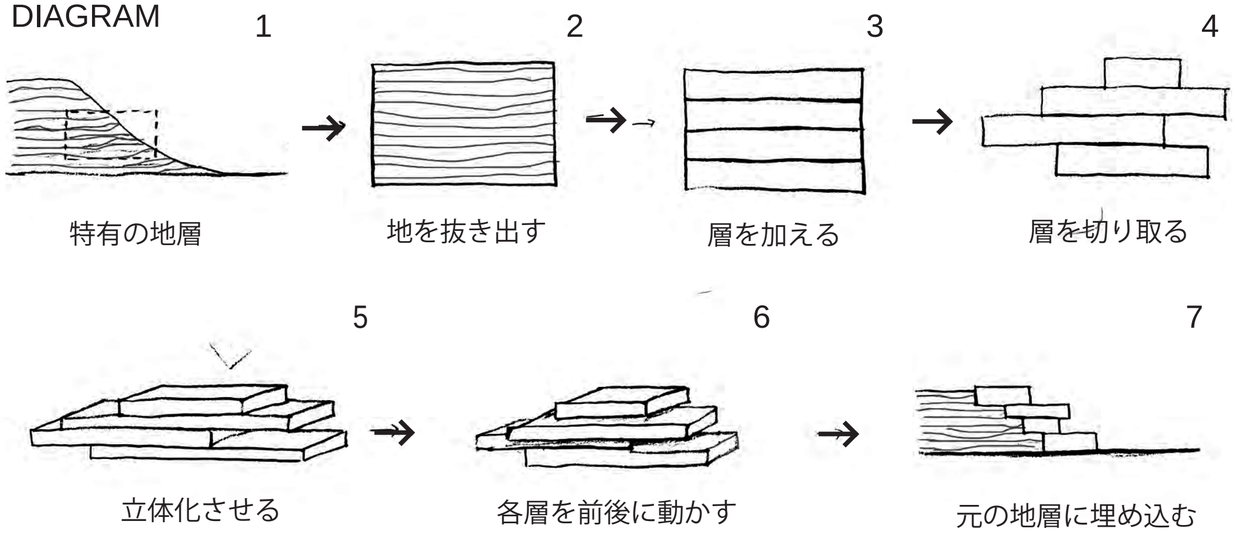
市街地を望む削られた海岸

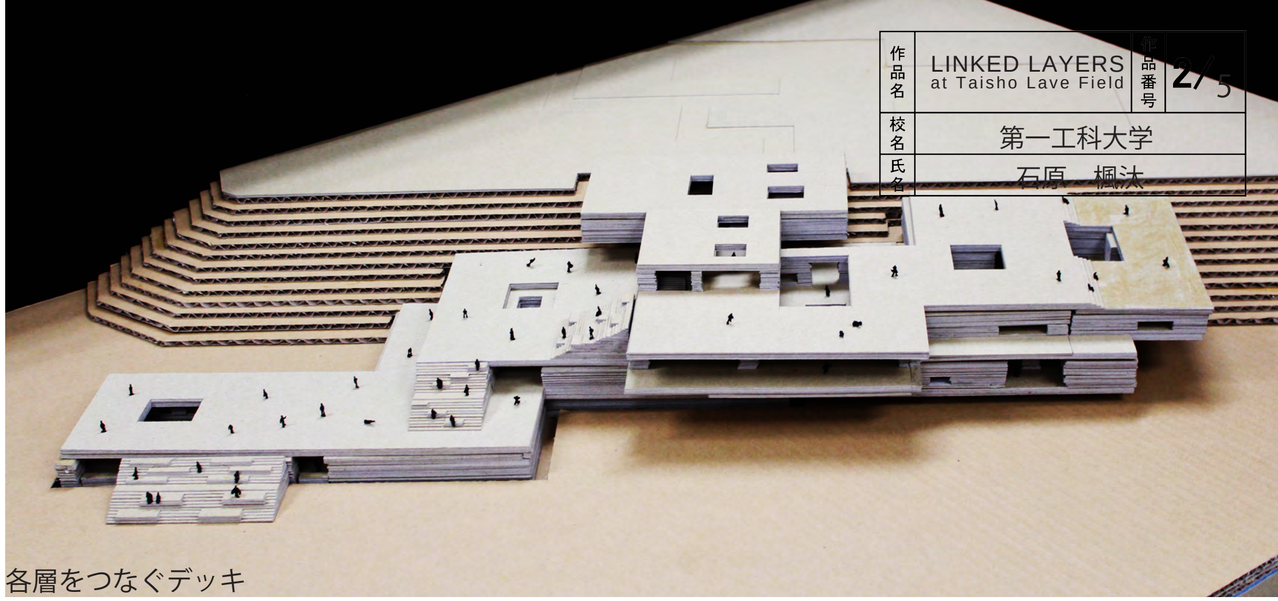
凹凸ある地形と豊かな自然

CONCEPT

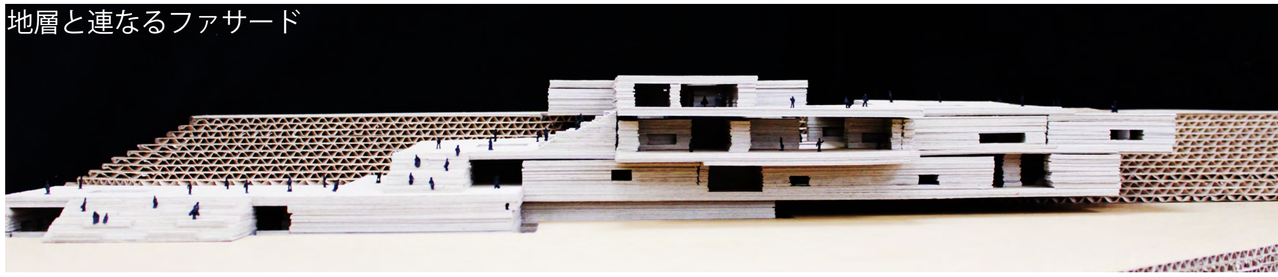
自然が隆起した空間に、意図的に層を作り、自然と建築を呼応させる彫刻美術館を計画する。
傾斜に沿わせ、斜面に埋める造形で、土地が作り上げてきた歴史を建築に取り入れる。
隆起した自然に潜り込み、アリの巣のような内部と
縦穴、横穴で外部との関係を結びつけ、非日常空間を作り出し、
地層としての建築空間を提案する。

DIAGRAM

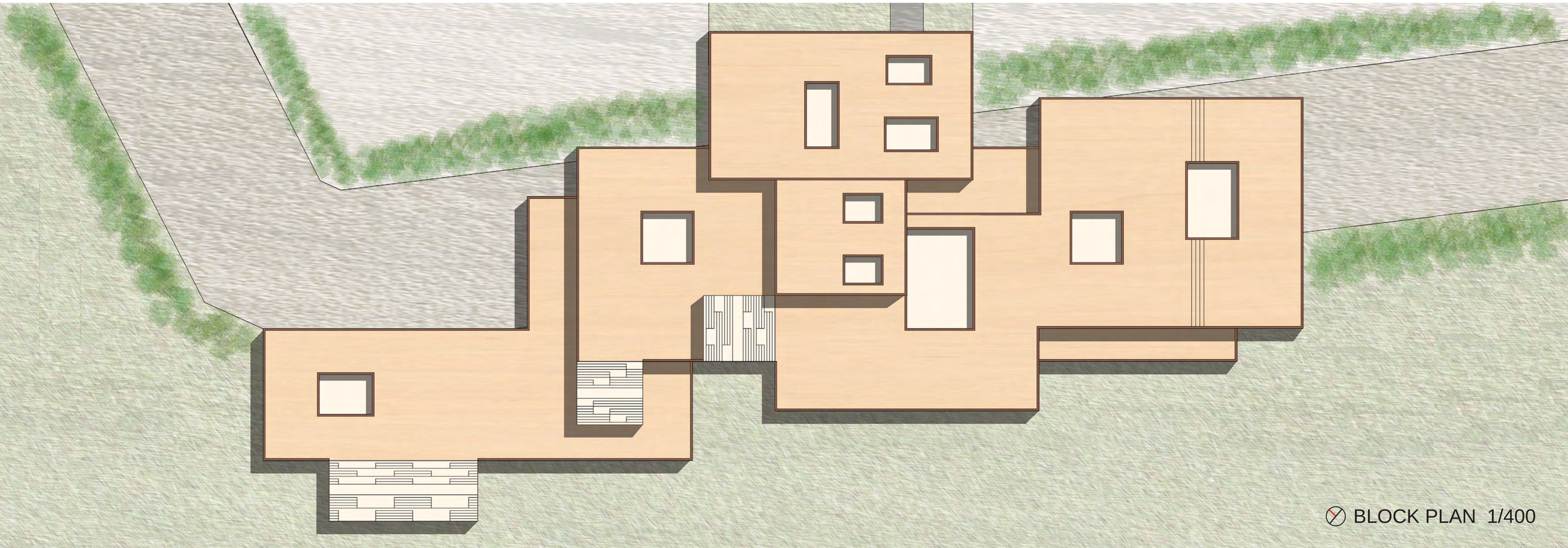




各層をつなぐデッキ

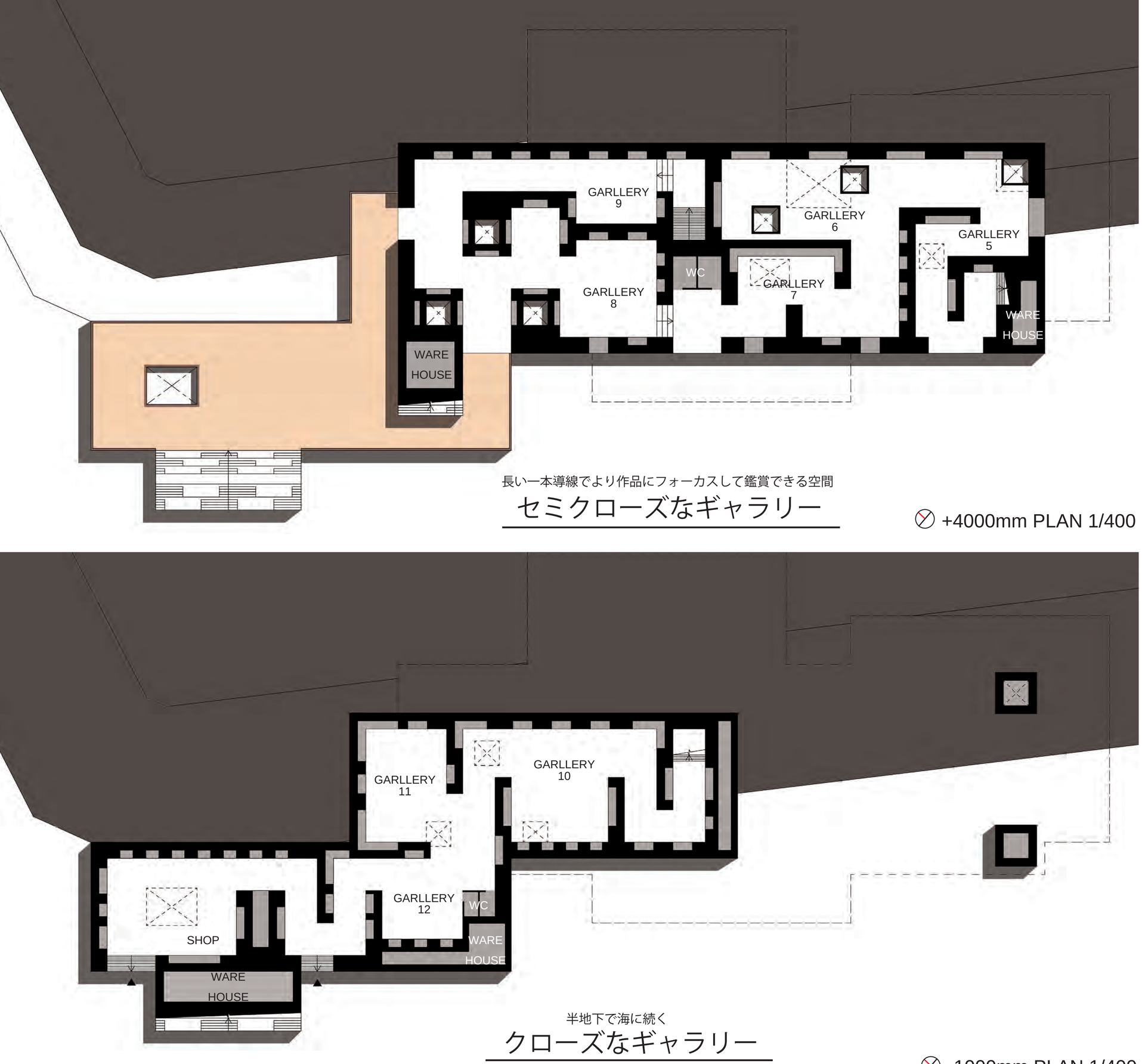


地層と連なるファサード



BLOCK PLAN 1/400

作品名	LINKED LAYERS at Taisho Lave Field	作品番号	3/5
校名	第一工科大学		
氏名	石原　楓汰		



長い一本導線でより作品にフォーカスして鑑賞できる空間

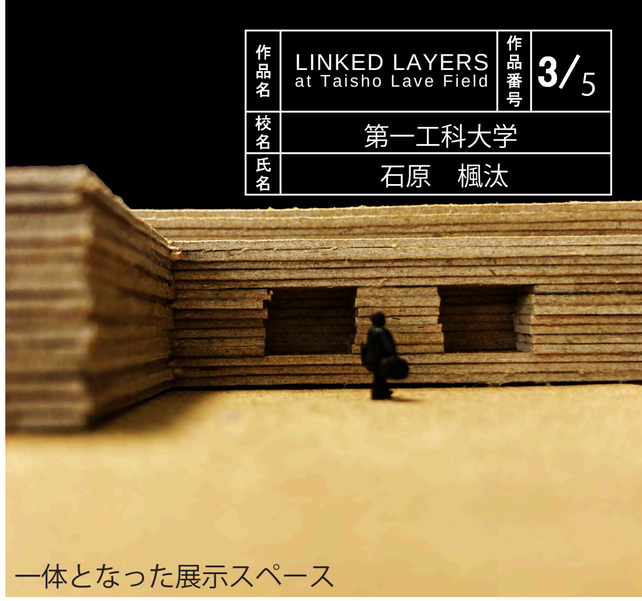
セミクローズなギャラリー

+4000mm PLAN 1/400

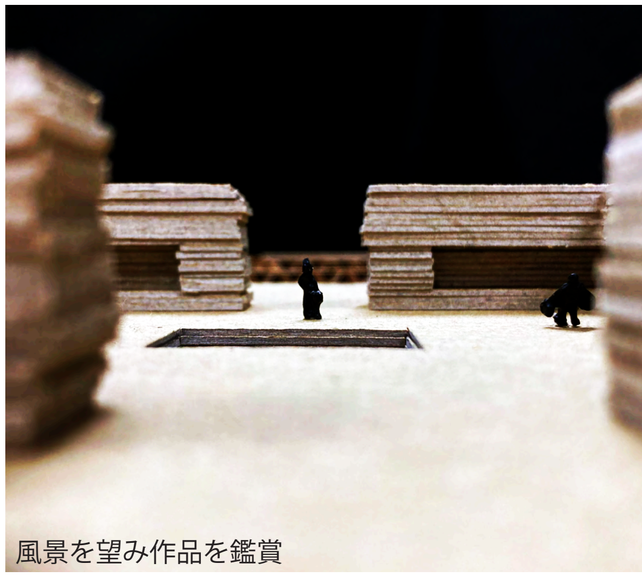
半地下で海に続く

クローズなギャラリー

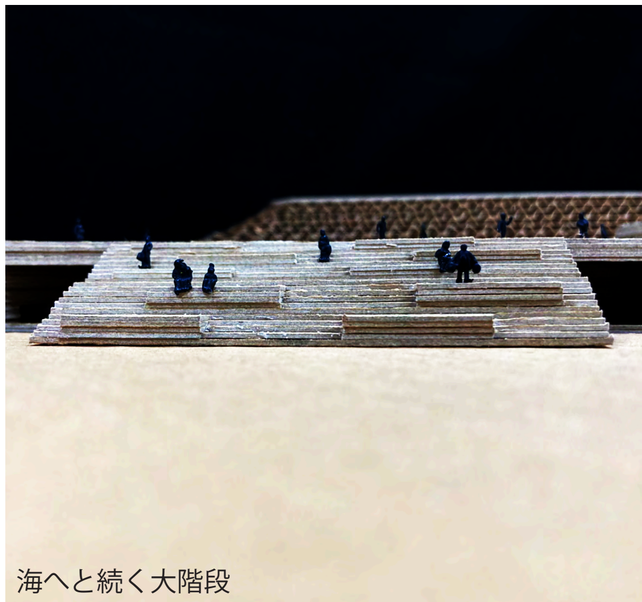
-1000mm PLAN 1/400



一体となった展示スペース

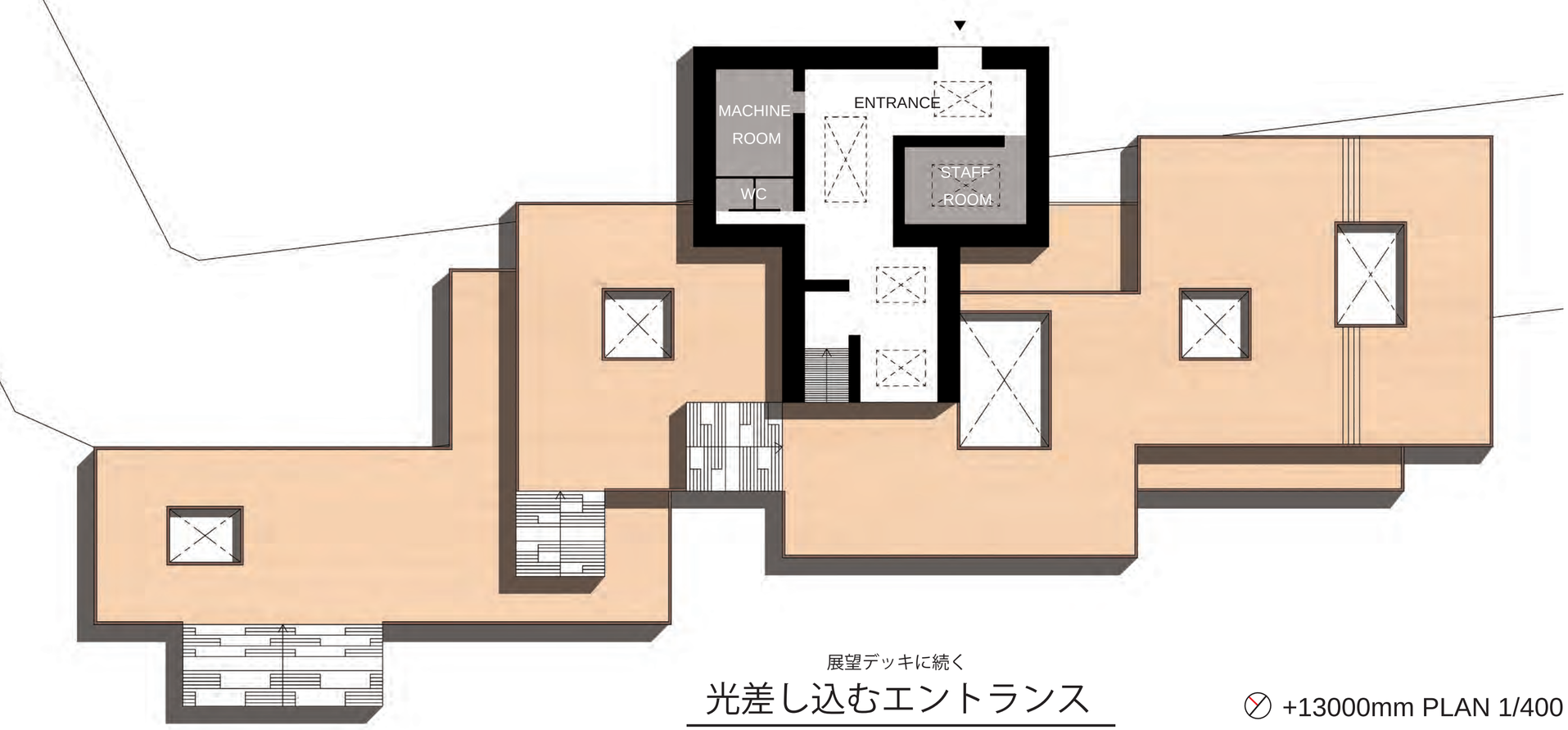


風景を望み作品を鑑賞



海へと続く大階段

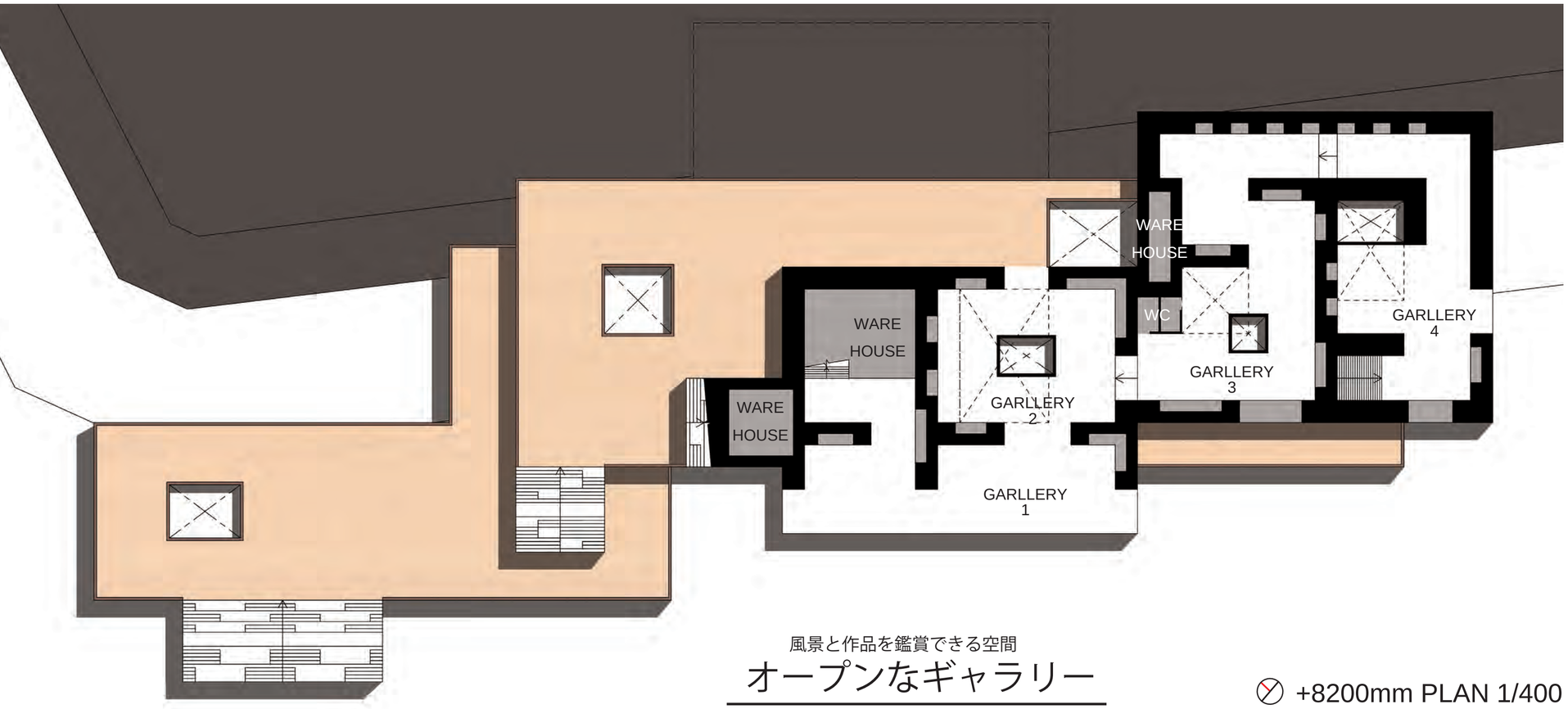
作品名	LINKED LAYERS at Taisho Lave Field	作品番号	4/5
校名	第一工科大学		
氏名	石原　楓汰		



展望デッキに続く

光差し込むエントランス

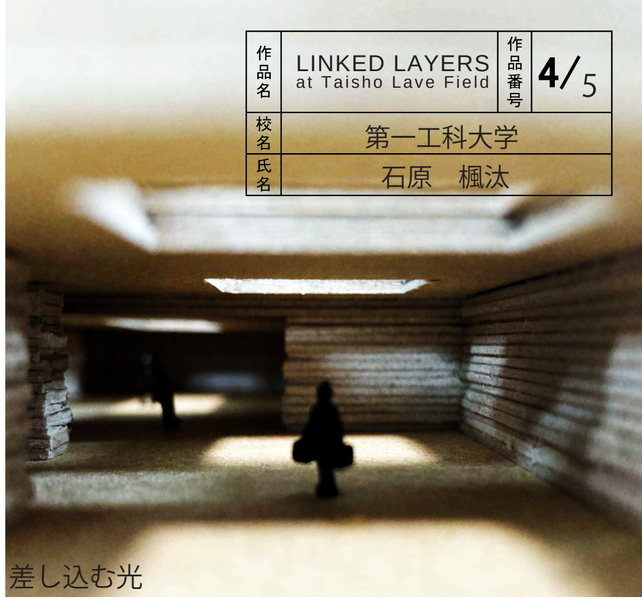
+13000mm PLAN 1/400

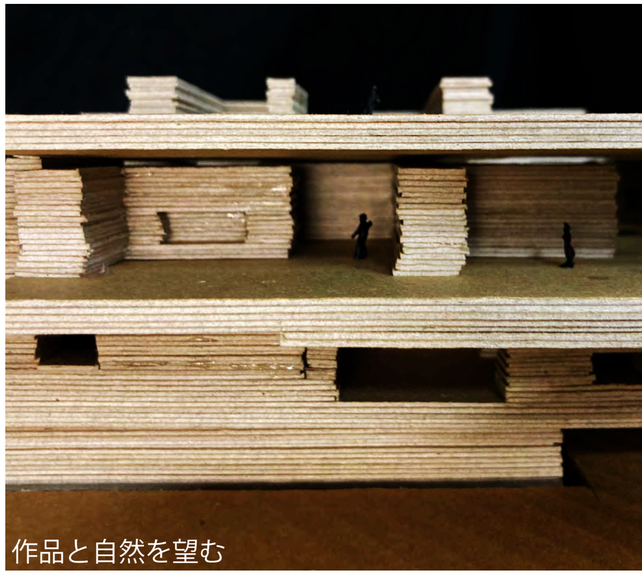


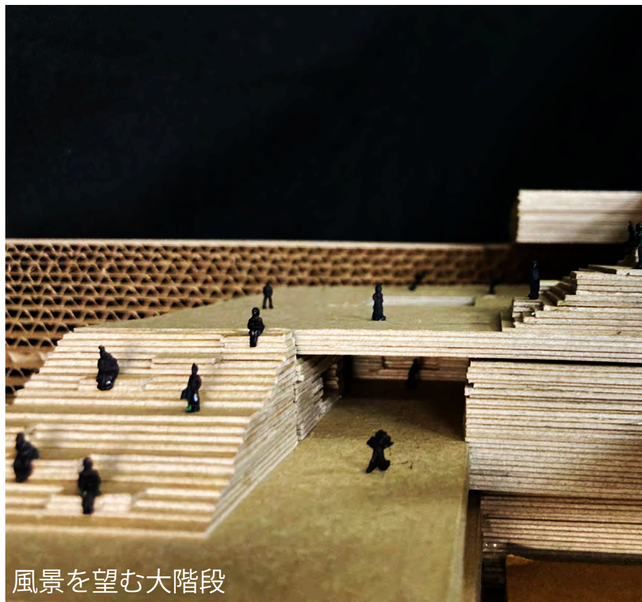
風景と作品を鑑賞できる空間

オープンなギャラリー

+8200mm PLAN 1/400

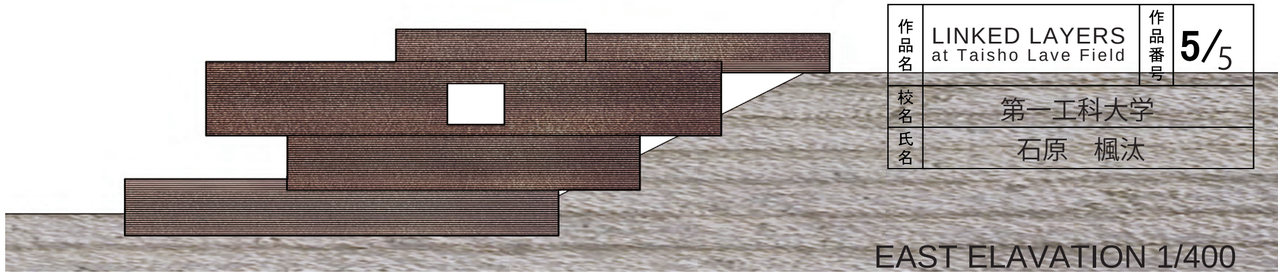

差し込む光

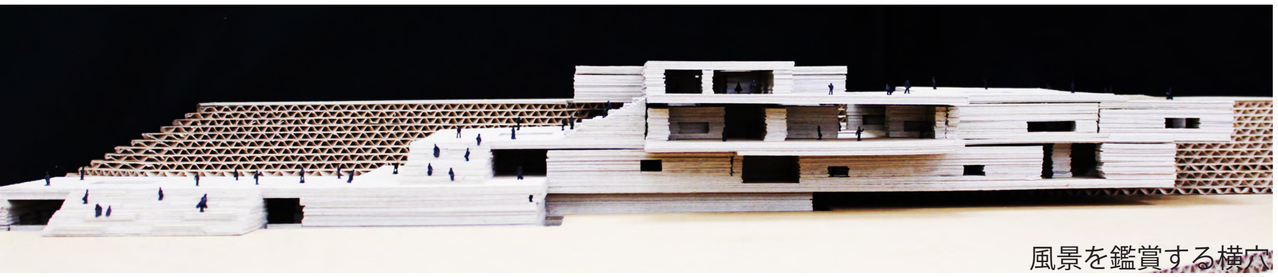

作品と自然を望む

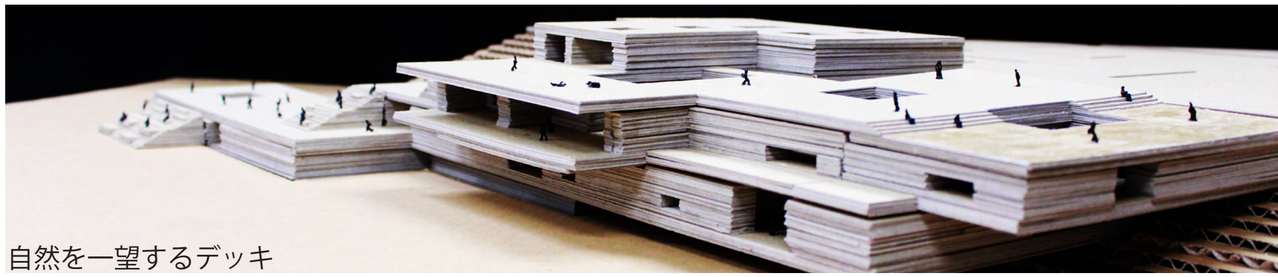

風景を望む大階段

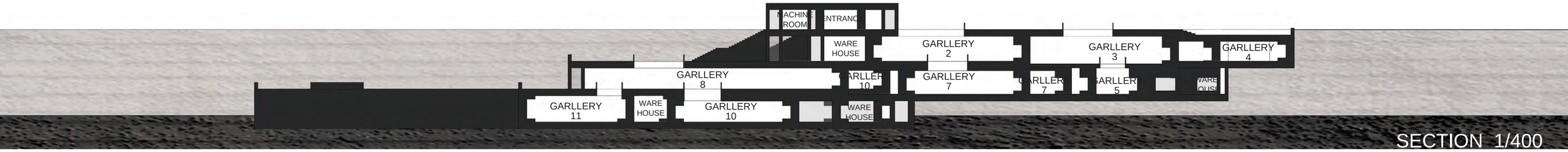
作品名	LINKED LAYERS at Taisho Lave Field	作品番号	5/5
校名	第一工科大学		
氏名	石原　楓汰		

SECTION 1/400

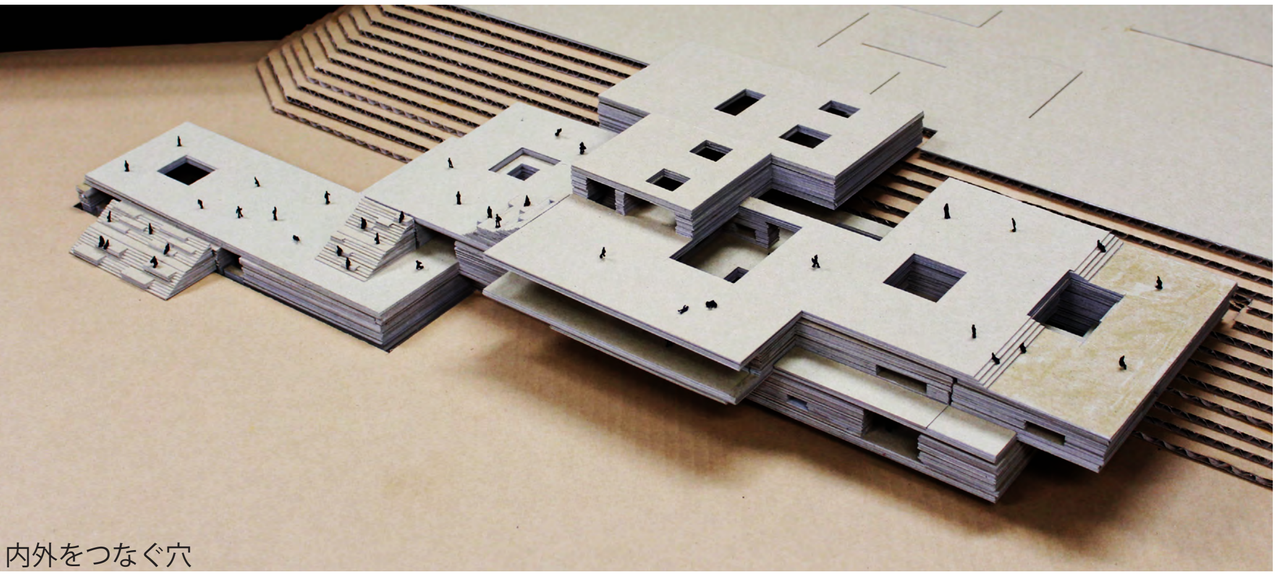

EAST ELAVATION 1/400

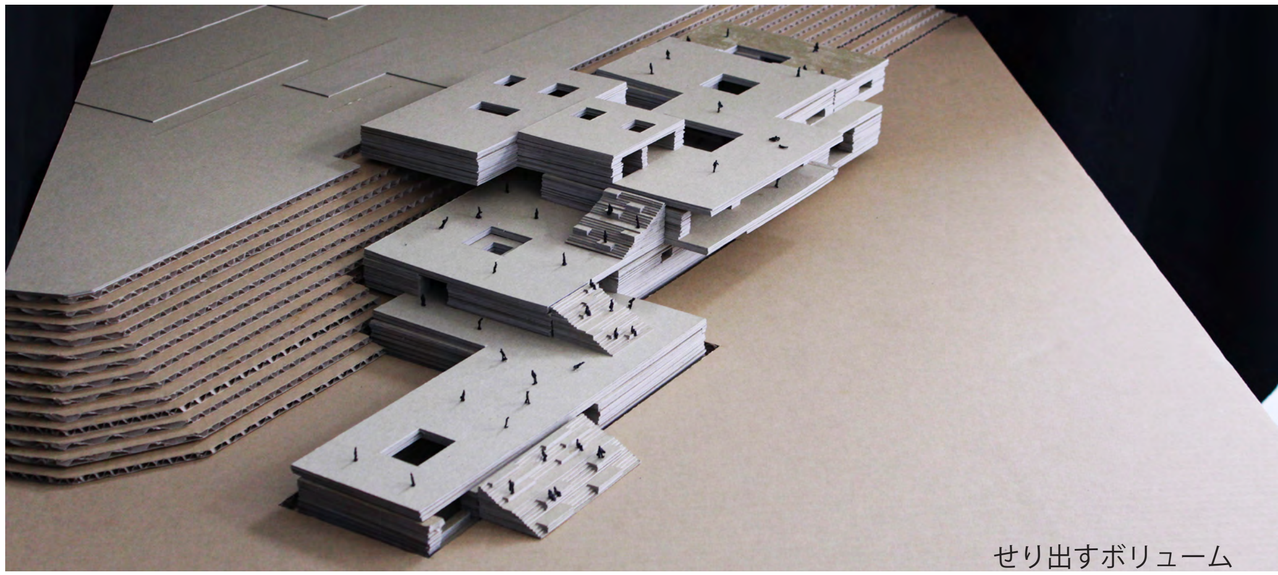

風景を鑑賞する横穴

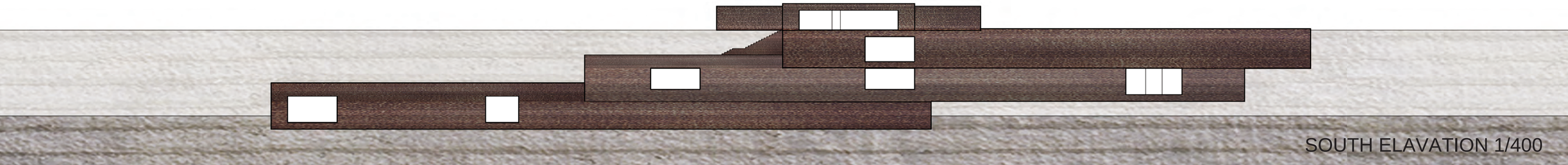

自然を一望するデッキ



SECTION 1/400


内外をつなぐ穴


せり出すボリューム


SOUTH ELAVATION 1/400